

114  
A5080  
1

# 經濟界救治ニ對スル國民ノ決心ヲ促カ シ經濟思想ヲ喚起セントシ敢テ同情ノ 士ニ檄ス

明治卅一年六月九日 衆議院議員 西川宇吉郎

海外諸強各地ニ蟠據シ外交ノ密雲日ニ濃ニ國家漸ク多事ナラントスルノ時ニ方リ財政内ニ整ハス國權外ニ振ハス設之優勢ナル堅艦利器アリ糾々タル百萬  
批貅アリト雖凡涙ヲ屈辱ニ忍ハサル可カラサル所以ノモノハ國力ノ以テ之ニ  
伴フ能ハサレハナリ  
殖産興業ハ國ノ富源ニシテ通商貿易ハ發達ノ機關ナリ今ヤ財界極メテ多難金  
融閉塞シ事業振ハス輸入超加シ民力困憊ス設之條約協商ノ我ニ利ナルアリト  
雖凡手ヲ拱シテ商權ノ侵害ヲ俟タサルベカラサル所以ノモノハ富力ノ以テ之  
ニ伴フ能ハサレハナリ

此時ニ際シ經國ノ策ヲ畫スルモノ誰カ先國力ノ發達ト富ノ増加トヲ思ハサル  
モノアラシヤ夫ノ戰勝ノ結果トシテ支拂ヲ受ケタル償金ハ假令其用途ヲ異ニ  
スルモ明カニ國富ヲ増加シタルニ外ナラス然ルニ財政ノ困難國力ノ衰憊之ヲ  
開戦已前ニ比シテ更ニ甚キヲ覺フル所以ノモノハ何ソヤ事業熱ノ沸騰之中  
心トナリテ然ルニ因ルト雖凡之ヲ要スルニ官民共ニ戰捷ノ結果ヲ夢想シ一時  
狂奔ノ渦中ニ陷入シ生計ノ程度ヲ高メタルハ自然ノ傾向ニシテ恰モ十七世紀  
ノ初年ニ於ケル英ノ財界ト獨佛戰爭ノ後ニ於ケル日耳曼ノ國情ト其軌ヲ一ニ  
セルカ如シ幸ニシテ千七百二十一年及千八百七十三年ニ於ケル二國ノ如キ恐  
慌ヲ見サルノ日ニ於テ大ニ經濟界ノ救治ニ全力ヲ注クベキハ刻下ノ急務ナリ  
トス

此ニ於テ乎外貨輸入公債償却鏡道國有等荷モ經濟界救治ニ關スル輿論ハ爲ニ  
大ニ沸騰スルニ至レリ然レモ今日財界ノ困難ハ實ニ政府ノ財政ト興業上ノ資  
本注入トノミニ原因シタルニアラスシテ國民一般ニ不生産的消費高ヲ増加シ  
タル結果ナルヲ思ハ之ヲ政府ニ要求シテ救済策ヲ仰クト同時ニ國民ノ經濟  
思想ヲ喚起シ官民一致舉國之ニ當ルベキハ亦當然ニシテ國力ノ發達ト富力ノ  
増加ニ於テ其効力ハ更ニ大ナルモノアルヲ信スルナリ  
所謂國民ノ經濟思想トハ何ソヤ即勤儉貯蓄ノ美德ニシテ勤勞ハ富ヲ作ルノ原  
力節約ハ之ヲ守ルノ秘訣ニシテ貯蓄ハ之ヲ増殖スルノ一大要素ナレハナリ  
惟フニ懶惰ト奢侈ト浪費トハ戰捷國ニ於テ最モ恐ルベキ弊害ニシテ之ヲ内外  
古今ノ歴史ニ徵スルモ殆ント同一ノ轍ヲ踏マサルハナシ而シテ此等ノ惡徳ハ  
習慣上不知不識ノ間ニ其度ヲ高ムルモノニシテ今日吾國民ノ情性之ヲ數年前  
ニ比スルニ大ニ輕佻浮薄ニ流レ音ニ勤勞ヲ厭フノ惡習ヲ增長セシノミナラス  
其奢侈ト浪費トノ傾向ハ更ニ甚キモノアリ吾人之ヲ内ニ顧ミルモ爲ニ忸怩タ  
ラサルヲ得サルナリ苟モ憂國ノ觀念ヲ有スルモノ恐クハ自他具ニ之ヲ認諾ス  
ルニ躊躇セサルベシ

今吾國民ノ數ヲ四千五百萬人ト假定シ平均一人ニ付一ケ年壹圓ニ價スル勤勞  
ヲ増加スルトセハ即年々四千五百萬圓ノ富ヲ作ルヲ得ベク又壹年壹圓宛ノ冗  
費濫用ヲ節シ且之ヲ貯蓄ニ利用スルトセハ年々經濟界ニ四千五百萬圓ノ融通  
ヲ與ヘ之ヲ生産的資本ニ充用スルヲ得ベシ多數ノ勢力ハ夫レ斯クノ如ク優勢  
ニシテ亦此ノ如キ効果アリ目下經濟界救治ノ策トシテ公債償却外資募集鐵道  
國有等固ヨリ急務ナリト雖凡此際ニ方リ國民ノ經濟思想ヲ喚起シ上下一致之  
カ振興ヲ計ルホハ其効果ヲシテ更ニ大ナラシムルモノアリ國家百年ノ長計ヲ  
立ツルモノ亦大ニ警醒セサルベカラサルナリ  
不肖宇吉郎曾テ感スル所アリ去ル明治十六年ノ交ニ於テ別表ノ如ク貯蓄



ノ初年ニ於ケル英ノ財界ト獨佛戰爭ノ後ニ於ケル日耳曼ノ國情ト其軌ヲ一ニセルカ如シ幸ニシテ千七百二十一年及千八百七十三年ニ於ケル二國ノ如キ恐慌ヲ見サルノ日ニ於テ大ニ經濟界ノ救治ニ全力ヲ注クベキハ刻下ノ急務ナリトス

此ニ於テ乎外貨輸入、公債償却、鏡道國有等、苟モ經濟界救治ニ關スル輿論ハ爲ニ大ニ沸騰スルニ至レリ、然レモ今日財界ノ困難ハ、實ニ政府ノ財政ト興業上ノ資本注入トノミニ原因シタルニアラスシテ、國民一般ニ生産的消費高ヲ増加シタル結果ナルヲ思ハ、之ヲ政府ニ要求シテ救治策ヲ仰クト同時ニ國民ノ經濟思想ヲ喚起シ、官民一致舉國之ニ當ルベキハ亦當然ニシテ、國力ノ發達ト富力ノ増加ニ於テ其効力ハ更ニ大ナルモ、アルヲ信スルナリ、

所謂國民ノ經濟思想トハ何ソヤ、即勤儉貯蓄ノ美德ニシテ、勤勞ハ富ヲ作ルノ原力、節約ハ之ヲ守ルノ秘訣ニシテ、貯蓄ハ之ヲ増殖スルノ一大要素ナレハナリ、惟フニ懶惰ト奢侈ト、浪費トハ、戰捷國ニ於テ最モ恐ルベキ弊害ニシテ、之ヲ内外古今ノ歴史ニ徵スルモ、殆ント同一ノ轍ヲ踏マサルハナシ、而シテ此等ノ惡徳ハ、習慣上不知不識ノ間ニ其度ヲ高ムルモノニシテ、今日吾國民ノ情性之ヲ數年前ニ比スルニ、大ニ輕佻浮薄ニ流レ、實ニ勤勞ヲ厭フノ惡習ヲ增長セシノミナラス、其奢侈ト浪費トノ傾向ハ、更ニ甚キモノアリ吾人之ヲ内ニ顧ミルモ、爲ニ忸怩タラサルヲ得サルナリ、苟モ憂國ノ觀念ヲ有スルモノ、恐クハ自他具ニ之ヲ認諾スルニ躊躇セサルベシ、

今吾國民ノ數ヲ四千五百萬人ト假定シ、平均一人ニ付一ケ年壹圓ニ價スル勤勞ヲ增加スルトセハ、即年々四千五百萬圓ノ富ヲ作ルヲ得ベク、又壹年壹圓宛ノ冗費濫用ヲ節シ、且之ヲ貯蓄ニ利用スルトセハ、年々經濟界ニ四千五百萬圓ノ融通ヲ與ヘ、之ヲ生産的資本ニ充用スルヲ得ベシ、多數ノ勢力ハ夫レ斯クノ如ク優勢ニシテ、亦此ノ如キ効果アリ、目下經濟界救治ノ策トシテ、公債償却外資募集、鐵道國有等固ヨリ急務ナリト雖、此際ニ方リ國民ノ經濟思想ヲ喚起シ、上下一致之カ振興ヲ計ルルハ其効果ヲシテ更ニ大ナラシムルモノアリ、國家百年ノ長計ヲ立ツルモノ亦大ニ警醒セサルベカラサルナリ、

不肖字吉郎曾テ感スル所アリ去ル明治十六年ノ交ニ於テ別表ノ如ク貯蓄金計算表ヲ製シ、意見ヲ付シテ況ク之ヲ地方ニ頒布シ、大ニ國民ノ勤儉貯蓄ヲ勸誘シタリ、爾來數年國運ノ推移ニ伴フテ、金利モ亦低下ニ傾キタルヲ以テ、同十九年再ヒ調表ヲ改メ、勸誘ノ材料ニ供シ、多少ノ希望ヲ滿タシタルコトアリキ、而シテ今ヤ財界多難ノ時ニ際シ、金利ハ益昂騰ノ一方ニ傾キ、勤儉貯蓄ノ必要ヲ感スル最甚キニ至レリ、故ニ今回適當ノ方法ヲ設定シ、之ヲ議院ニ提出シ、國家問題トシテ決行センコトヲ希圖シタルモ、短期ノ議會之ヲ提供スルニ暇ナキヲ憾ム、依テ左ニ勸誘ノ目的、順序ヲ定メ、之ヲ同情ノ士ニ訴フルノ已ムヲ得サルニ至レリ、然ルニ勤儉貯蓄ノ事タル之ヲ言フニ易クシテ實踐ニ困難ナリ、諸賢ハ即社會ノ上流ニ位シ、其一舉一動ハ多數ノ注目スル處ニシテ、其意見ハ多數國民ノ聽カント欲スル所ナリ、希クハ自カラ導火線トナリテ、之ヲ躬行シ、之ヲ開誘シ、輿論ニ訴ヘテ以テ國民ノ決心ヲ促カシ、經濟思想ヲ喚起スルコトニ同情ヲ表セラレンコトヲ、懇款冀望ニ堪ヘサルナリ、敢テ檢ス

### 甲 國民ノ經濟思想ヲ喚起スルニ對スル目的

- 第一 産業ノ發達ヲ獎勵シテ、生産力ヲ増加セシムルコト
- 第二 濫費ヲ節約シ、生産的消費ヲ轉シテ、生産的ニ活用セシムルコト
- 第三 貯蓄ヲ獎勵シテ、中流以下ニ散布セル通貨ヲ回收シ、生産的資本ニ充用セシムルコト

### 乙 勸誘ノ方法

- 第一 各自之ヲ躬行シ、且上流ノ人ニ同情ヲ求メテ、一般公衆ノ模範タルベキナリ
- 第二 凡ソ團體又ハ個人ヲ問ハス、公衆ニ意見ヲ述フルノ機會アル所ハ、此目的ヲ貫徹スルコトニ盡力スルコト
- 第三 生産的事業ハ、全力ヲ盡シテ之ヲ助長スルコト
- 第四 中央政局ト地方廳トヲ問ハス國民ノ負擔ニ屬スル政費ハ、其執行上、可成之ヲ節減シテ活用セシムルコトニ運動スルコト
- 第五 教育社會ハ、德育ノ要素トシテ、特ニ此美風ヲ薰陶養成スルコトニ注意ヲ與フルコト
- 第六 郵便貯金法、及銀行預金ノ方法ヲ改良シ、一般預ケ人ニ便益ヲ與フルコト
- 第七 各府縣ニ於ケル、備荒貯蓄ヲシテ、一層發達セシメ、其實効ヲ舉クルコトニ盡力スルコト
- 第八 其他此目的ヲ達スル機會アルキハ、之ヲ把握シテ、國民ノ經濟思想ヲ喚起スルコト